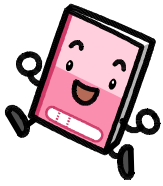


# そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより

平成26年度No.8

平成26年11月26日



よりよい読書習慣の定着に向けて

早いもので、今年もまもなく師走を迎えます。2学期を、そしてこの一年を振り返り自分の成長に気づくとともに、新たな気持ちで新年を迎えられるよう、大きな節目に向かって有意義な12月にしていきたいと思えます。

さて、先日、図書委員会の6年生男子が校長室を訪ねて来てくれました。「とっておきのお薦めの本を一冊紹介してほしい」と、アンケート用紙を届けてくれたのです。ここは、ぜひとも期待に応えなくてはと、薄れかかった記憶をたどりながら、悩みに悩んで一冊の本の題名を書き記しました。

本校では、11月17日(月)～23日(日)を『秋の小郡小読書週間』と位置づけ、読書に対する意欲や関心を高めようと、図書委員会を中心にして、創意工夫を凝らした様々な取り組みを行いました。図書委員会の児童が教職員対象に行ったアンケートをもとに、25名の教職員の一押しの本が並んだ、『先生おすすめの本の紹介』コーナーの設置もその一つです。

また、図書館前には『読書郵便専用ポスト』がお目見えしました。『読書郵便』とは、全校児童各自が、友達に自分の好きな本やお薦めの本を紹介するお手紙を書き、この読書郵便専用ポストに投函すると、図書委員会の子どもたちが届け先のクラスまで配達してくれるというものです。

このような読書活動の推進は、何も読書週間に限ったことではありません。図書館司書教諭と市から派遣される図書館指導員、そして図書委員会の子どもたちが中心となり、「本を借りてみようかな」と思えるような図書館づくりに取り組んだり、各学級で読書の機会を工夫したりして、全校をあげて取り組んでいるのです。

また、読み聞かせや本の修理、図書館の飾りつけなど、年間を通して支援して下さる図書ボランティアの方々の温かい支援も、読書活動の推進に欠かすことのできない大きな力となっています。

心も体も成長期にあり、何でも吸収できる子どもたちにとって、読書はとても大切です。映像が中心となった現代社会であれば、なおさらではないでしょうか。なぜなら、読書は、文章を読み取る力や表現する力といった国語の力を育てるということはもちろんですが、文字からいろいろな世界を空想したり、登場人物になりきって泣いたり笑ったり胸をなでおろしたりといった経験を通して、想像力を培い感性を磨き、豊かな心を育てていくと考えられるからです。

季節は晩秋から初冬へ。暖かい部屋で時にはテレビを消して、親子で読書というのはいかがでしょうか。ご家庭での子どもたちへの投げかけをよろしく願います。

蛇足になりますが、保護者の皆さんが子どもから「一押しの作品は?」と訊かれたら、なんと答えられますか。ちなみに、25名の教職員が答えた子どもたちへの一押しは何と全員まちまちで、コーナーには、25冊もの本が並んでいます。

# 秋の行事をふりかえる

## 感動の「白鳥の湖」(10/29)

「文化芸術による子どもの育成事業」として、「谷桃子バレエ団」によるバレエ公演がありました。体育館フロアーが、おとぎの国のような舞台に変わっていました。2階観覧席には、100名以上の地域・保護者の方が来られ、文化・芸術に対する関心の高さを垣間見ました。



今回、「谷桃子バレエ団」は、中国地方で12公演され、最終公演が小郡小学校でした。『鑑賞態度がととてもよく、小郡小学校が最終公演でよかったです。気持ちよく公演を終えることができました。』と感謝の言葉を残されました。

保護者からこんな感想が寄せられました。

「私は、本物のバレエをこの目で鑑賞したのは初めてで、公演中拍手するのも忘れてしまうほどでした。子どもに本物を体験させたり観せたりするのは本当に大切だと感じます。夕食中は、本日のバレエの話で盛り上がりました。」



<児童が特別出演しました>

## ピカピカ就学時健康診断(11/11)

平成27年度に小郡小学校に入学する児童の就学時健康診断が行われました。今のところ、来年度小郡小学校に入学する児童は、77名で3クラスになる予定です。

5年生が、就学時健康診断のお手伝いをしてくれました。5年生は、健康診断が終わると、図書室で絵本の読み聞かせや紙芝居をし、楽しい一時を過ごさせていました。立派なお兄さんお姉さんぶりでした。



## 1年生ふれあい芸能大会参加(10/24)

老人クラブ主催の「ふれあい芸能大会」が小郡ふれあいセンターで行われました。1年生が参加し、群読(寿限無や詩)とダンス「にんじやりばんばん」を披露しました。

元気に飛び跳ね、踊る1年生に会場のおじいちゃんおばあちゃんは大喜びでした。1年生もちょっとしたスター気分を味わわせてもらい、大満足でした。



## 6年生小郡中見学会(11/7)

小郡・上郷・小郡南小学校の6年生が小郡中学校見学会に参加しました。中学校では、授業見学・生徒会による学校紹介・部活動見学をしました。

小学校から中学校に入学する時の環境の変化による戸惑いを「中一ギャップ」と言います。少しでも中学校への不安を取り除くための小郡中見学会です。



## 4年生福祉体験

4年生は、総合的な学習の時間に福祉体験をしました。アイマスク体験(10/2)点字体験(10/9)手話体験(10/16)車いす体験(10/21)の四つの体験をしました。社会福祉協議会小郡支部、にじの会、てんとう虫の会、小郡手話友の会の皆様のご協力により実施することができました。

「車いす体験をして、わたしは、車いすに乗っている時のこわさを知ることができました。」と感想に書いています。やはり、体験することは、実感につながります。



<車いす体験>



<アイマスク体験>

## 小郡小学校に若い力

小郡小学校に多くの若い学生が来ています。「採用前教職インターンシップ」「教師力養成体験実習」「理科ボランティア」「学生支援員」といった役割で、12人の学生が出入りしています。子どもたちを見守り、支援をし教職員の手伝いをします。年齢が近いこともあり、子どもたちは親しみをもって接しています。教職員は、将来の先生に温かいまなざしをもって指導にあたっています。

名札を首に掛け、颯爽とした若い姿を見られたら、学生だと思ってください。



# 小中合同避難訓練を行いました

初めての小郡小・小郡中合同の避難訓練を行いました。

「南海トラフを震源とした震度5強～6程度の地震が発生した。校舎の一部破損、余震の可能性があり、校舎に戻ることは不安である。液状化・津波警報の情報がある。念のため、高台（山手一番館）へ避難する。」という想定で行いました。

小学生と中学生、教職員を合わせると1100人を超える大移動です。安全に早く避難できるか不安がありましたが、無事終わることができました。

○運動場への一次避難に要した時間は、約5分

○中学校への移動に要した時間は、約7分

○小学生が山手一番館への避難に要した時間は、19分でした。

今回の避難訓練を参考に、地震・津波・水害・火事・不審者等 非常時の避難計画の見直しをしていきます。

3年生の感想を紹介します。

「きのう、ひなんくんれんで、中学生と手をつないでひなんしていた時、ぼくがみぞの近くでつまずいたら『だいじょうぶ』と言ってくれました。とてもやさしそうな人でよかったです。最後までぼくを守ってくれてとても助かりました。最後に『ありがとうございました。』と言うと『こちらこそありがとうございました。』と言ってくれました。その中学生がいてくれたおかげで、ぼくは、ぶじ帰れました。」



「中学生の人と手をつないで思ったことは、中学生と手をつなぐととても安心感があって車がきたときに自分を車の方がわから中にやってくれて、中学生の人は車がわの方についてすごいと思いました。中学生の人は、自分を守らずに小学生を守っているのがすごいと思いました。ぼくも中学生になったらそういう中学生になりたいです。」

## 12・1月の行事予定

### 12月

- 1日（月）委員会活動
- 2日（火）学校運営協議会
- 3日（水）校内持久走大会
- 5日（金）にこにこタイム
- 8日（月）こころの劇場6年
- 9日（火）ベルマーク収集日
- 12日（金）短縮時程
- 15日（月）短縮時程
- 19日（金）学期末個人懇談会
- 22日（月）学期末個人懇談会  
給食終了
- 24日（水）終業式

### 1月

- 8日（木）始業式、給食開始
- 13日（火）にこにこタイム  
6年琴体験
- 14日（水）5年琴体験
- 15日（木）避難訓練
- 16日（金）参観日・人権教育講演会
- 19日（月）委員会活動
- 23日（金）6年租税教室
- 29日（木）6年薬物乱用防止教室  
5年ケイタイ教室

※予定ですから変更の可能性もあります。